

イケガミヨリユキ
今村源
衣川泰典
野田ジャスミン
船井美佐
ミロコマチコ
安喜万佐子

2011年
十二月十八日(金)から
十二月二十四日(土)まで



い
き
も
の
た
ち
ゆ
ら
め
く

開場時間 11時から18時まで
会場 京都精華大学ギャラリー「TERRA-S」
休場日 日曜日 *ただし十二月二十日(日)は開場
入場無料

主催 京都精華大学
企画 伊藤まゆみ
主権 京都精華大学
展示コーディネーター 齋藤雅宏
(京都精華大学展示コミュニケーションセンター特任講師、ギャラリー「TERRA-S」のキュレーター)
展示コーディネーター 齋藤雅宏
(京都精華大学ギャラリー「TERRA-S」の展示コーディネーター)
グラフィックデザイン 漆原悠二 (tonio)

衣川泰典 (Ikegami Yoriyuki) July 2021

[参加アーティスト]

イケガミヨリユキ IKEGAMI Yoriyuki

1993年生まれ。画家・イラストレーター。2016年京都精華大学マンガ学部カートゥーンコース卒業。植物や動物、鉱物などをモチーフに、物語を感じさせる幻想的な作品を描く。書籍やCDジャケットなどのイラストレーションのほか、映画のキャラクターデザインにも参加している。近年の主な仕事に映画『竜とそばかすの姫』キャラクターデザイン、『地上絵』橋爪志保著（書肆侃侃房）装画など。作品集に『PETALS』（ポポタム）、『イケガミヨリユキ作品集』（玄光社）など。

今村源 IMAMURA Hajime

1957年大阪府生まれ。現代美術家。1983年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。1991年より本学非常勤講師。身近にあるものをモチーフとしたユーモラスな作品をとおして、現実と仮想、目に見えるものと見えないものが交錯し超越する世界を想像させる。近年の主な展覧会に「感覚の領域 今、『経験する』ということ」（国立国際美術館、大阪、2022）、個展「流れること／留めること」（ギャラリーノマル、大阪、2021）など。

衣川泰典 KINUKAWA Yasunori

1978年京都府生まれ。美術家・石版画家。2004年京都精華大学大学院芸術研究科造形専攻修了。2018年より自身で採集した石灰岩を裁断・研磨してリトグラフの版に用いる「小石のリトグラフ」を開始。石灰岩を採集するプロセスを映像作品として視覚化することも試みている。近年の主な展覧会に個展「小石のリトグラフ」（MATSUO MEGUMI + VOICE GALLERY pfs/w、京都、2022）、「2nd International Biennale of Lithography」（Stari grad/Belgrade、セルビア、2021）など。

野田ジャスミン NODA Jusmin

1996年タイ国ウタイ県生まれ。セラミックアーティスト。京都精華大学芸術学部造形学科陶芸コースで学ぶ。自然や植物をモチーフとした陶の器物を用いたインスタレーションを制作する。多面性をもつ現代工芸のカタチを明確にすることを目的に、「工芸とアート」の関わりについても言及している。近年の主な展覧会に、個展「湖面に沈む」（KITAHAMA N gallery、大阪、2020）、「ARTIST'S FAIR KYOTO 2020」（京都文化博物館 別館、京都、2021）など。

船井美佐 FUNAI Misa

1974年京都府生まれ。現代美術作家。1996年京都精華大学美術学部造形学科日本画コース卒業。2001年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。イメージと平面の「境界」をテーマに絵画表現を探索。想像上の動物や楽園風景を描いた平面や鏡を配置して地と図、虚と実が反転するような作品など、新たな絵画表現を開拓している。近年の主な展覧会に「A Scoop of Light」（TOKAS 本郷、東京、2021）、個展「楽園／境界〜いつかいた場所〜」（国際芸術センター青森、2017）など。

ミロコマチコ mirocomachiko

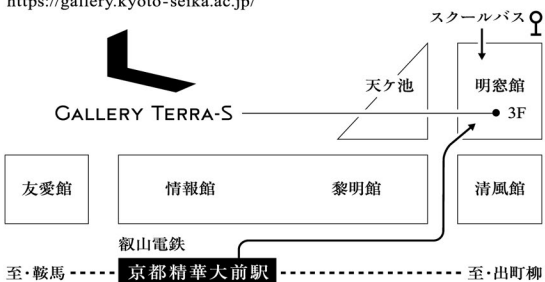
1981年大阪府生まれ。画家・絵本作家。2003年京都精華大学人文学部人文学科卒業。2012年に絵本『オオカミがとぶひ』（イースト・プレス）で第18回日本絵本賞大賞を受賞後、常に新作が期待される絵本作家の一人として活躍する。大きな画面いっぱいに生き物をのびのびと描き、音楽家と即興でライブペインティングを行うなど、画家としての活躍も注目を集めている。近年の主な個展に「ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ」（横須賀美術館、神奈川など全国巡回中、2020-）など。

安喜万佐子 YASUKI Masako

1970年大阪府生まれ。美術家。1994年京都精華大学大学院美術研究科修了。2003年より本学非常勤講師。天然鉱物や顔料を使ったテンペラ等、近代以前の技法を現代の絵画表現に展開。大画面のタブローを中心に、環境や自然、社会と人間の身体や意識、記憶の関わりを主題とした作品を国内外で発表。近年の主な展覧会に、個展「時の海・明日の地層」（FEI ART MUSEUM YOKOHAMA、神奈川、2022）、個展「カオス・フロム・オーダー、オーダー・フロム・カオス」（ギャラリー16+京都場、京都、2020）など。

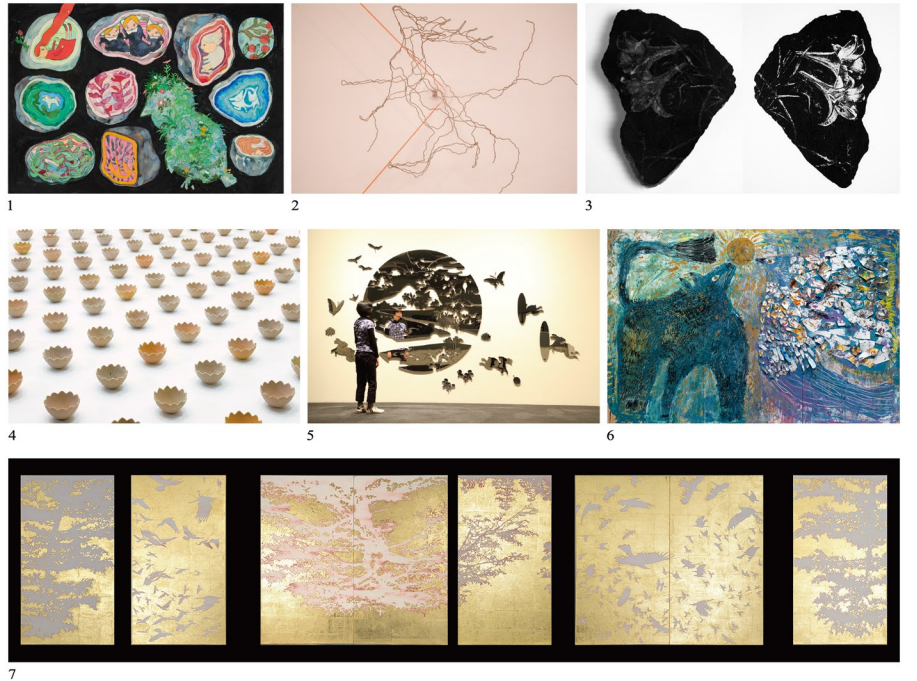
[問合せ先]

京都精華大学ギャラリーTerra-S
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 京都精華大学明窓館3F
TEL : 075-702-5263 E-mail : gallery@kyoto-seika.ac.jp
https://gallery.kyoto-seika.ac.jp/



叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前」下車
地下鉄烏丸線「国際会館」下車、3番出口よりスクールバス
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

京都精華大学はギャラリー「Terra-S」の展示空間を生かし、活躍する本学卒業生及び教員のアーティストを紹介するグループ展「Seika Artist File #1 『ゆるめくいきものたち』」を開催します。
2022年2月に開館した本ギャラリーは、外の風景を取り込む大きなガラス窓など、のびやかで個性的な展示空間を備えています。また、「Terra-S」はラテン語で「土、大地、地球」を表す「terra」と「seika」の頭文字を繋げ名付けられました。
「Seika Artist File」展の第一回目となる今回は、「Terra=大地」に息づく動植物（生き物）に着目し、それらをモチーフとする7名のアーティスト、イケガミヨリユキ、今村源、衣川泰典、野田ジャスミン、船井美佐、ミロコマチコ、安喜万佐子を紹介いたします。
昔から動植物は、人間と世界の関係を深く掘り下げる省察の手段として、アーティストにとって主要なモチーフの一つとなってきました。世代や表現方法、扱う素材の異なる本展の参加アーティストたちの表現は様々ですが、そこに登場する生き物たちは、しばしば私たちが日常から解き放ち、想像／創造の世界に導いてくれることでしょう。
ギャラリー「Terra-S」のガラス窓から飛び込んでくる緑豊かなキャンパス周辺の自然も含めて、展示空間でゆらめく生き物たちが、見る人の感覚を揺さぶり、各々のイメージーションの力を高めてくれるきっかけとなれば幸いです。



[関連イベント]

※申込方法、参加費などの詳細はギャラリーHPをご確認ください。

- オープニング・イベント
アーティスト・トーク
日時：2022年11月18日（金）16:30-17:30
会場：明窓館3F ギャラリーTerra-S
- オープニング・イベント
ミロコマチコ×曾我大穂ライブペインティング
日時：2022年11月18日（金）18:00-19:30
会場：明窓館1F グローバルラウンジ

- 公開講座ガーデン陶芸教室
野田ジャスミンワークショップ「ひみつのねんど〜土練りワークショップ〜」 ※要事前申込
日時：2022年11月26日（土）13:30-16:00
会場：明窓館3F ギャラリーTerra-Sほか

- こどもガーデン絵画教室
船井美佐ワークショップ「いきものの絵を描こう!」 ※要事前申込
日時：2022年12月10日（土）13:00-16:00
会場：明窓館3F ギャラリーTerra-Sほか

- 衣川泰典ワークショップ「マーブル・リトグラフ」 ※要事前申込
日時：2022年12月17日（土）13:00-17:30
会場：明窓館3F ギャラリーTerra-Sほか

- キュレーターによるギャラリートーク
日時：2022年11月20日（日）、12月3日（土）、24日（土）14:00-14:40
会場：明窓館3F ギャラリーTerra-S

イケガミヨリユキ 今村源 衣川泰典 野田ジャスミン 船井美佐 ミロコマチコ 安喜万佐子

※諸般の事情により会期・時間・内容等が変更になる場合があります。最新情報はギャラリーHPをご確認ください。
<http://gallery.kyoto-seika.ac.jp/>

京都精華大学
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

GALLERY TERRA-S